

www.creekaudio.com

EVOLUTION 50CD

DAC / CD Player

取扱説明書

GETTING STARTED – 最初に

EVOLUTION 50CD は、単に CD Player では無く、スロットドライブの CD トラスポーターを備えた、DA コンバーターとプリアンプです。DAC は、2 x SPDIF と 2 x TOSLINK のデジタル入力備え、24 bit 192 kHz のハイレゾ対応となります。USB 入力は、ドライバーをインストールすることなく、Windows PC ないし MAC から、24 bit 96 kHz ファイルに対応しています。

EVOLUTION 50CD を、接続するのに適したアンプとして、Creek Audio では、**EVOLUTION 50A** ないし **EVOLUTION 100A** のプレメインアンプを、完璧な見た目とパフォーマンスで、推奨しています。しかし、ラインレベルのボリュームコントロールを備えた、ステレオアンプであれば OK です。望むなら、**EVOLUTION 50A** のボリュームコントロールで、パワーアンプと一緒に使うことができます。

付属の 3 芯電源コードで、壁のコンセントより、**EVOLUTION 50CD** のリアーパネルに、3 pin IEC プラグを接続します。この際、タコ足配線とならない様、オーバーロードにはご注意ください。

さらに、質の良いインターコネクトを使って、DAC/CD Player のアナログアウトとアンプの入力を、繋ぐことが大事です。その為に、アンバランスとバランスの出力が用意されております。双方の出力を同時に使用することは、パフォーマンスを低下させるので、お勧め出来ません。

注意: バランス出力では、**EVOLUTION 50A** と直接に繋ぐ事が出来、その距離が 5m 以上であれば、良いサウンドクオリティを提供します。バランスオーディオは、プロフェッショナル規格の XLR コネクターを用いて、長いケーブル距離での、ノイズとハムを低減します。短い距離での使用は、システムにとって、サウンドの改善にはなりません。むしろアンバランスのインターコネクトケーブルの方が、優れた音質をもたらします。

Output level: – 出力レベル

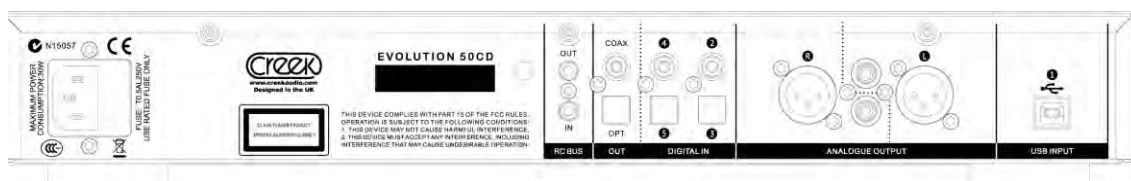
工場出荷時の設定では、出力は Line Level (0dB max) に設定されております。可変出力を望むら、Pre-Amplifier Mode への変更が出来ます。**EVOLUTION 50CD** の電源を落とし、MENU ボタンを押したまま、Power ボタンを ON にすると、Setup Menu として、'Analogue Output' と 'Factory Defaults' が表示されます。

EVOLUTION 50CD を、ボリュームコントロールの出力とするには、Play/Pause ボタンで、'Analogue Output' を選択し、Track Back/Forward 双方のボタンを、Pre-amplifier Mode の表示が、強調されるまで押した後に、MENU ボタンを押せば設定は完了し、ディスプレイに Creek のロゴが表示され、通常の動作になります。

ディスプレイの右側の下に、ボリューム設定の指示が表示されます。ボリューム調整は、リモコン上部の、CD もしくは DAC ボタンを押した後に、青色の+ないし-ボタンで行います。

固定出力に戻すには、上と同じ経路にて、LINE LEVEL(0dB)を選択して、次に、MENU ボタンを押し、‘Factory Defaults’を選択し、‘Reset to Defaults’をプレス、Play/Pause ないし Menu ボタンを押せば、通常モードに戻ります。

REAR PANEL – リアパネル



INPUTS – 入力

1. USB 入力: コンピューターと接続して、高品質のデジタル・オーディオデータを提供
2. 同軸 SPDIF 入力: CD トランスポート等のデジタル出力を接続
3. 光 TOSLINK 入力: CD トランスポート等のデジタル出力を接続
4. 同軸 SPDIF 入力: CD トランスポート等のデジタル出力を接続
5. 光 TOSLINK 入力: CD トランスポート等のデジタル出力を接続

※ オプションにて、Bluetooth モジュールを用意しております。

OUTPUTS – 出力

- 1 x 同軸デジタル出力、EVOLUTION 50CD をパス
- 1 x 光デジタル出力
- 2 x RCA アンバランスのオーディオ出力、左と右 ch
- 2 x XLR バランスのオーディオ出力、左と右 ch

RC バスの OUT を、EVOLUTION 50A に接続することで、一つのリモコンで、双方の機器を操作することが出来ます。

FRONT PANEL CONTROLS – フロントパネル操作



POWER

フロントパネルの右サイドにある、電源の On/Off スイッチ、EVOLUTION 50CD には、スタンバイ機能はありません。

CD OPERATON

スロットドライブの次に位置する、5 つのボタンのグループと、ディスプレイの右側の、Repeat ボタンを含む、4 つのボタンで操作します。

PLAY/PAUSE

Play ボタンを押すと、最初のトラックから再生します。再度、Play ボタンを押すと、Pause 状態になり、Play ボタンを押すと、再生が始まります。

STOP

STOP ボタンを押すと、再生を停止します。

LOADING/EJECTING A DISC

ラベル面を上にして、ディスクを、スロットドライブに挿入します。メカニズムは、中に半分程入った後で、ディスクの近接を感じ、自動的に中に引き込み、コンテンツを表示して停止します。

EJECT

Eject ボタンを押して、スロットドライブから、ディスクを取り出します。

SKIP FORWARD/SCAN FORWARD

Skip-forward ボタンを押すと、曲送りが出てきます。押し続けると、曲を前方にスキャンします。

SKIP BACKWARD/SCAN BACKWARD

Skip-Back ボタンを押すと、曲戻しが出てきます。押し続けると、曲を後方にスキャンします。

REPEAT

このボタンを押して、一曲、CD の全て、Off のリピート機能を選びます。長く押し続けることで、ランダム機能の On/Off 設定が出来ます。

Display features:

ディスクを読むこと、ディスプレイには、トラック数と演奏時間が表示されます。再生の間は、トラック番号と曲の時間が表示されます。また、Repeat と Random 機能のシンボルも表示されます。

INFO

このボタンを押して、CD テキストの表示の On/Off を切換

TIME

このボタンを押して、トラックの経過と残り、ならびにディスクの経過と残り時間を表示します。

DAC AND CD OPERATION – DAC と CD の操作

SRC

このボタンを押すことで、CD only, Input 1 = USB, Input 2 = Co-Ax, Input 3 = Optical, Input 4 = Co-Ax, Input 5 = Optical等の、DACへの入力を切換へます。

MENU

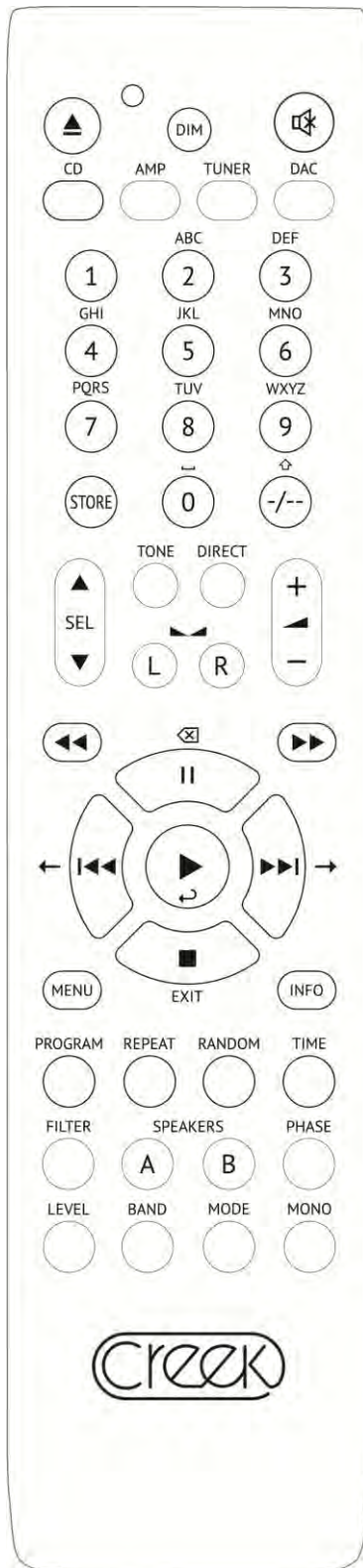
MENU ボタンを押すと、いくつかのオプションが明らかにされ、好みにより設定が出来ます。

Display settings –

- Always on 常に表示が On
- Auto off 短い表示の後、自動で Off

Display Brightness ディスプレイの明るさを、Low – Med – Full の三段階に変更

REMOTE CONTROL OPERATION – リモコンでの操作



最初に CD ボタンを押します:

SELECT A SPECIFIC TRACK

トラック番号、0 - 9 を押すと、番号が表示され、そのトラックが再生されます。

RANDOM

ランダムに、トラックが再生されます。

INFO

ディスプレイに、ディスクの経過と残り時間を表示します。さらに、長押しで、CD テキストの表示と非表示を設定。

REPEAT

再生中の曲か、全ての曲かを選びます。一度、REPEAT ボタンを押せば、再生中の曲をリピート、再度、REPEAT ボタンを押すと、全ての曲を、三回目で、通常の再生に戻ります。

DIM

ディスプレイの明るさを調整。

FILTER

5 つの、オプションのデジタルフィルターカーブを提供、詳しくは FILTER の記述を参照。

VOLUME

青いボタンの +/- で、ボリュームレベルを調整。

FUNCTIONS NOT YET IN USE: – 使用出来ない機能

PROGRAM

まだ、使用が出来ません。将来の、ソフトウェアの update をご期待下さい。

PHASE

EVOLUTION 50 CD では、使用しません。

DAC OPERATION – DAC の操作

最初に、DAC ボタンを押します。異なった入力で、様々なデジタルソースを選択して、DAC はデジタルプリアンプとして動作。いくつかのデジタル機器で、それらの信号を光で出力するのであれば、良質の TOSLINK ケーブルを使って、信号を DAC に接続します。いくつかの製品が、同軸接続だけを使用するのであれば、最も良い結果を得るため、デジタルインターコネクトケーブル使用しません。

EVOLUTION 50CD は、16-24Bit と 32kHz-192kHz のサンプルレートで、デジタル入力をサポートします。

すべてのデジタル信号は、同軸と光コネクタで、他のデジタル機器へ出力することが出来る。

USB 入力では、DAC がサウンドカードのように振る舞うのを許容する。コンピューターは、USB DAC を自動的に認識して、リンクするのにどんな問題も持たない。リンクがいったん確立すると、最も高い品質で、オーディオデータを伝送し、変換することができる。リモコン操作では、入ってくる信号に対し、プレー、ポーズ、停止などの限られた操作となります。しかしながら、iTunes のようなメディアプレーヤーならば、タブレットコンピューター、スマートフォンまたは他のリモートデバイスを使用して、ライブラリを操作するのに、リモート App を使用できるので、はるかに便利です。USB 入力は、コンピューターの発生するどんな電気雑音にも、その性能を妨げられるのを防ぐために、電氣的に完全に隔離されています。

DIGITAL FILTERS – デジタルフィルター

リモコンの上で、FILTER ボタンを押すと、5つのデジタルフィルタオプションが選択できます。これらは、ソースとして提供されたデジタル信号から、アナログ波形を再建する DAC に使用される。5つのフィルタが、超音波雑音の性能と抑圧の間で、異なる妥協を提供します。最も良いオプションとして、システムにどのオプションが適するのかわかり、トライして下さい。違いが非常に微妙であり、したがって、そのいくつかは、お気に入りになるかも知れない。フィルタのいずれも、20Hz-20kHz の聞きとれる範囲の、周波数特性には影響しないので、「間違っている選択」の心配には及びません。

Technical Specifications: – スペック

デジタル入力: 2 x SPDIF, 24 Bit 192 kHz, RCA, トランス接続

2 x TOSLINK, 24 Bit 192 kHz, 光接続

1 x USB class 1.0 24 Bit 196 kHz

CD トランスポート: CD slot-loader

S/N: > -115dB

THD: 0.001% @ 1kHz 0dBFS

周波数特性: +/-0.1dB 20Hz-20kHz (at 48kHz and higher sampling rates)

チャンネルセパレーション: >95dB 20Hz-20kHz, 110dB @ 1kHz

デジタル出力: 1 x SPDIF, 1 x TOSLINK

デジタルフィルター: 5 デジタルフィルター、リモコンにて選択

アナログ出力: 2 x RCA アンバランス/2.0V RMS, 2 x XLR バランス/4.0V RMS

オーディオバッファリング: ハイグレード FET Op-amp オーディオバッファリングとフィルタリング

出力インピーダンス: 47Ω

電源供給: 25W トロイダルトランス

RC バス: 3.5 mmジャックの Input/output にて、EVO 50A と接続

DAC: 2 x Wolfson WM8742, 24Bit 192kHz, 特異な二重構成

入力レシーバー: WM8805, マルチチャンネルデジタル入力レシーバー

USB タイプ: Class 1 Audio (24Bit 96kHz)

電圧対応: 100 - 120V/ 200 - 240V

消費電力: 6W(アイドルリング), 10W(プレイバック)

重量: 5.5Kg

サイズ: W430 x H60 x D280mm

その他: リモコン付属, Silver or Black フロントパネル